

ほくほく鬼北 家族の絆

家族の健康が一番

内深田
二宮

康広さん

美幸さん

權くん

烈くん



とにかく元気のいい、權君と烈君。写真撮影の場所に行くにも2人が先頭を切って歩いてくれました。そんな元気いっぱいの子供たち、時には悪いことをして康広さんに叱られることもあるとか。康広さんは、「小さい頃は多少の悪さも大目に見る。ただ、ありがとうやごめんなさいが言える礼儀正しい子になってほしい」と話しました。

子供たちの天真爛漫さを何かに生かせないかと、今年スポーツ少年団に入団させることを考えている康広さんと美幸さん。美容師の美幸さんがいない日曜日、3人はいつも外で野球やサッカーをしているそうです。そんな面倒見のいい康広さんを美幸さんは「自分が仕事をしていても安心して子どもたちを任せられる。感謝している」と話します。

康広さんは「自分が育ってきた好藤で、子どもたちを育てられることにも幸せを感じている。自由奔放にのほほんと育てたい。そして、家族が病気をせず、みんなで笑って暮らすことが一番です」と話し、本当に家族思いの大黒柱でした。

今回は、康広さんの先輩の京屋大輔さんご家族です。

編集後記

先日、取材の帰りにふと目に入ったのはれんげ畑。思わず車を降りカメラを手に取りました。

田んぼ脇の水路を流れる澄んだ水、一面に規則正しく植えられた稲苗、カエルの鳴き声、田植えなどをする農家の人。

昔から自然豊かな環境の中で育ったせいかな、なんとなくそういう風景を見ていたら落ち着きます。

気候的にも過ごしやすい、田舎らしい景色が広がるこの季節を満喫したいと思います。

